

科目名	国民保護	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	Civil Protection	開講年次	□ 1年 ■ 2年 3年 □ 4年		
			開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	まるや あきひこ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	丸谷 明彦	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	国民の安全を守る仕組みについて学ぶ。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1 国民の安全を守る仕組みを理解できるようになる 2 日本を取り巻く国際環境と日本の現状を把握することができる 3 国民保護の具体例を学ぶことができる				
授業概要	国民保護は、この20年余りの間に具体化が進んだ分野であり、私たちの日常生活にも大きな関連を持っています。なぜ、こうした論点が注目されるようになったのか、法律が作られるようになった事情や背景、実際の対応例に触れることで、安全に生活していくための知恵を一緒に身につけていきましょう。				
授業計画					
第1回	国民保護とは（全体のガイダンス）				
第2回	安全保障環境の変化				
第3回	日本を取り巻く情勢：中国				
第4回	日本を取り巻く情勢：朝鮮半島				
第5回	日本を取り巻く情勢：ロシア				
第6回	日本を取り巻く情勢：G7の国々、ASEAN				
第7回	国民保護に関する国内の課題				
第8回	前半のまとめ・中間試験				
第9回	国民保護の概要				
第10回	緊急事態対処とは				
第11回	有事関連法制				
第12回	具体例：ミサイルへの対応				
第13回	具体例：テロから身を守る方法				
第14回	リスクコミュニケーションの大切さ				
第15回	全体のまとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業の前にテーマについて、ネットなどで調べ、大まかなイメージをつかんでください。その際、疑問や質問も考えておいてください。（2時間程度） 2. 毎回、前回の講義内容の確認を行いますので復習をしっかりと行ってください。（2時間程度）				
履修条件 受講のルール	適宜資料を配布しますが、事前に連絡がなく欠席した学生には原則として配布しませんので、友人同士でコピーしてください。講義の際は、前回までに配布した資料を必ず持参して下さい。				
テキスト					
参考文献・資料	内閣官房ホームページ（国民保護ポータルサイト）				
成績評価の方法	【試験（中間40%、期末40%）、受講態度20%】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受ける				

	<p>ことができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	月曜日 13:00～14:30・火曜日 14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は公務員として公共の安全に関する業務に携わってきました。この授業をとおして、国民保護の現状と今後について、お話ししたいと思います。
学生へのメッセージ	日本を取り巻く情勢が大きく変化する中、国民保護というテーマに関心を持つ方々の積極的参加を期待しています。安全な日本を作るための具体的な方法を考えていきましょう。